



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和7年3月4日 第11号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

レジリエンス～しなやかさを高める

校長 小野満 賢

JAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙飛行士だった野口聡一さんが、2020年11月に搭乗した民間の宇宙船クルードラゴン初号機に、「レジリエンス」と名付けたことが当時話題になりました。

コロナ禍にめげず、地球の皆が協力して日常を回復しよう、元の生活を取り戻そう、といった願いを託し付けられた「レジリエンス」は、もともと外力のストレスを跳ね返す力という意味で、物理学で使われていた言葉だったのですが、今では心理学的な用語として取り上げられることが多くなりました。日本語では「回復力」や「復元力」と訳され、外的な衝撃にも折れることなく、柔軟に受け止めて立ち直ることができる「しなやかさ」のことを言うのだそうです。



この「レジリエンス」は、誰もがもっていて、しかも高めていくことができるといいます。現代の生きにくくストレスフルな社会においては、この「レジリエンス」を高めていくことが重要であると盛んに言われています。「しなやかさ」が増せば、どんなに強烈なプレッシャーやストレスがあっても、柔軟に吸収し、心折れずに跳ね返すことができる、それが最大の強靭さだというわけです。これは、“決して倒れない強さ”ではなく、“倒れてもまた起き上がる強さ”のことを指しています。

もちろん個人差があって、ショックやストレスで落ち込んでもすぐに立ち直ることができる人もいれば、相当時間がかかる人もいます。昨日今日で急に備わるものではないでしょうし、今まで育ってきた環境も影響しているに違いありません。では、どうしたらそのしなやかさを高めていくことができるのでしょうか。

そもそも立ち直ることは、失敗したり、挫折したりしないことには経験できないはずです。

自分の子育てを振り返ってみると、子どもが判断する前に大人である自分が決めてしまったり、子どもが失敗しないように先回りして障害物を取り除いてしまったり、やってもどうせできないのだからとチャレンジすら、させなかったり…、というようなことが往々にしてあったような気がします。親である自分自身が多くの失敗をしてきたために、「子どもには同じ轍（てつ）を踏ませない」という親心が働いたのかもしれませんが、今になってみればその考えは子どものためにはならないことが分かります。もちろん子どもが幼い頃であればその庇護（ひご）は必要ですが、幾つになっても大人が先回りしてレールを敷き、その上を歩ませることが子どもにとって一番の幸せだと思うのは、単なる大人の自己満足であって、子どもにとっては悪影響でしかありません。失敗の経験をしないまま大人になれば、当然のことながら厳しい現実を突き付けられ、うまくいかないこと・思い通りにならないことに直面し、挫折して打ちひしがれる自分にうまく対処できないのは容易に想像できるのではないのでしょうか。



あえて失敗させましようと言っているわけではありません。

大事なのは、発達段階に応じて自分の意志で判断し、決定させ、挑戦させることだと思います。少し背伸びをした目標でも、大人は無理だとか、どうせできないと言わず、チャレンジさせることが必要で、結果的にうまくいかなかったとしても、その経験から学ぶことがいかに多いかは分かりだと思います。身近にいる大人は相談されることもあるでしょう。人生の先輩として、アドバイスはするにしても、最終的に決めるのは本人にさせて欲しいのです。自分で決めたことを自分でやるからこそ成功も失敗も自分自身の「生きた経験値」になっていくわけです。

周りの大人には他にも大事な役割があります。成功したときには一緒になって喜び、その結果だけではなく、その努力の過程を褒めること。失敗したときには責めるのではなく、その原因をよく考えさせ、再挑戦を促すこと。「何とかなる、きっとできる」と声をかけ、背中を押してあげること。完璧にやり遂げることも、最善を尽くすことの大切さを伝えること。そんなことが成功のレールを敷いてあげることよりずっと本人の生きていく力になると思うのです。



また、人に助けを求めてもよいことを伝えることも大切です。困った時に、誰かに「困っている」と言えるように、反対に困っている誰かの声を聞き、助けることもできるように、自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、相手の思いや考えをきちんと受け止めたりできるコミュニケーション力を身に付け、磨いておくことも大切です。

予測不能の未来は続きます。これから遠くない将来に大人の手を離れ、子どもたちは自分の力で生きていかなければなりません。未来へ歩む彼らの心が簡単に折れないように、倒れてもまた立ち上がれるように、私たち大人は、子どもたちそれぞれがもつしなやかさを十分に高めていきたいものです。

百人一首大会 1/29 (水) 1年生、2/4 (火) 2年生

1月29日に1年生が、2月4日に2年生が体育館で百人一首大会を行いました。形式はちらし取り。対戦相手はクラスの壁を取り払って組み合わせ、メンバーを変えて2回戦行いました。



国語の授業の中でも練習を重ねてきましたが、1、2年生のやる気は授業にとどまることを知りません。家で覚えてきた歌を暗唱して友達に披露する10分休み。国語の資料集「国語便覧」を片手に友達と過ごす昼休み。2年生の中には、スキー教室の自由時間にホテルで百人一首を楽しむ強者たちもいました。

大会当日の朝、対戦相手が発表されると、他クラスの友人と声を掛け合い本番に向けて心の準備をする姿が見られました。体育館に集まって競技が始まれば、いよいよ盛り上がり、真剣に、そして楽しそうに取り組むことができました。前向きに一生懸命チャレンジした一人一人のおかげで充実した行事にすることができたと思っています。

ちなみに、冬休みの課題では、お気に入りの一首について調べてその歌の魅力をまとめました。「村雨の…」等決まり字で勢いよく取れる歌、「ちはやふる…」等知っている枕詞で始まる歌、清少納言等

有名な歌人の歌、ことば遊びが面白い歌、好きな古語が入っている歌、作者の思いに心動かされる歌など、生徒の皆さんが魅力だと感じるポイントはさまざまでしたが、どれもこれまでの日本人が心惹かれてきたことです。今後は、同じように百人一首に親しんできた人々と時を超えて心を交わしながら、歌そのものも楽しんでみてほしいと思います。(文責：国語科 長濱 啓)

百人一首大会結果（1年）		敬称略
【団体】優勝	1組	(平均33.8枚)
準優勝	2組	(平均30.5枚)
第3位	3組	(平均30.1枚)
【個人】第1位	(1組)	89枚
第2位	(3組)	62枚
第3位	(2組)	61枚
第4位	(1組)	58枚
	(2組)	58枚
第6位	(1組)	54枚
第7位	(2組)	52枚
第8位	(1組)	49枚

百人一首大会結果（2年）		敬称略
【団体】優勝	2組	(平均34.1枚)
準優勝	3組	(平均31.6枚)
第3位	1組	(平均28.7枚)
【個人】第1位	(2組)	68枚
第2位	(2組)	60枚
第3位	(3組)	57枚
第4位	(1組)	54枚
第5位	(3組)	53枚
第6位	(3組)	51枚
第7位	(2組)	50枚
第8位	(1組)	49枚



1年生

2年生

学校公開日 2 / 1 5 (土)



今年度最後となる学校公開を2月15日(土)に実施しました。新入生保護者説明会と学校評議員会を同日に開催しましたので、いつもより多くの方がお見えになったような印象です。1年保護者51名、2年保護者42名、3年保護者37名、新入生

の保護者93名、学校評議員7名、計230名の方が来校されました。

授業の様子をご覧になった感想をお寄せいただきましたので紹介します。

- 子供たちが主体的に考える授業だったと思います。私も一緒に答えを考えてしまいました。(1年保護者)
- 鳥の手羽を解剖して筋肉や骨のしくみを観察するグループ作業で、わかりやすく活気がありました。(2年保護者)
- 寝ている子がいて気になりました。(2年保護者)
- いつ見ても和やかな授業だと思います。圧迫感や強迫感がなくほのぼのしていていいなと思います。(1年保護者)
- 途中からの参観でしたが、子ども自身が興味を持って取り組んでいました。(1年保護者)
- 確率について、身近な10円玉を例に実験をして考える内容でした。隣の席の生徒間で自分の考えを話し合う機会など工夫をされていて効果的な授業だと感じました。(2年保護者)
- とても集中して取り組んでいる様子が見られました。時々、近くのお友だちと評価しあっていて、とても楽しそうでした。(1年保護者)
- 先生が明るく授業をしていて生徒もよく授業に取り組んでいると思いました。(1年保護者)
- 生徒から挨拶をしてくれました。とても良いな、と思いました。(1年保護者)
- 受験、考査に向けて頑張っている後ろ姿が拝見できました。(3年保護者)
- 楽しそうな授業内容でした。みんな真面目に取り組んでいました。(1年保護者)
- 受験を控えている中、楽しそうに取り組んでいて、ホッとしました。(3年保護者)
- 都立受験、学年末考査が近いからか、問題演習の授業でした。先生が声をかけながらクラス内を回っていらっしゃいました。この時期はピリピリしがちな時期ですが、こんな何気ない先生との会話が心和む時だと思います。落ち着いた授業にとっても安心した思いです。残り少ない時間ですがよろしく願いいたします。(3年保護者)
- 入試前ということもあり、授業というよりひたすら問題を説いている姿を見るだけでしたが、中学校生活最後の学校公開を見ることができてよかったです。(3年保護者)
- △グループ毎の話し合いではなく、仲の良い友達同士で自由に考える時間があり、とても楽しそうでした。そんな中、1人で静かにしている子もいたのは、あえてだったり、たまたまだったりなのかもしれませんが、もし自分の子のその姿を見たら、少し心配になるかもしれません。(1年保護者)
- ジャージを忘れてしまったのは自己責任なのに、エプロンをさりげなく貸してくださり、有り難く思いました。なかなか言葉だけでは想像しにくい複雑な色合いを、鮮明な画面を通して実物の見本を見ながら説明されていて、わかりやすいと感じました。(1年保護者)
- 手羽の解剖、生徒の皆さんはとても興味津々で行なっていました。とても、楽しく拝見させていただきました。(2年保護者)
- 都道府県の発表、皆さんよく聞いたり発表し合ったりで楽しい授業でした。(2年保護者)
- 卒業した長男が車で部活の顧問の先生に会った時に声を掛けてくれたと話していました。卒業後もありがとうございます。(1年保護者)
- いつも校舎内が綺麗に整備され、用務の先生(主事さん?)が学校を綺麗に整備してくださっている様子を拝見し、ありがたく思っていました。(3年保護者)
- 学校公開のお知らせのお手紙の時間割の所にそれぞれの授業時間も書いて頂けると助かります。よろしくお願い致します。(1年保護者)



新入生保護者説明会 2/15 (土)

(校長挨拶抜粋)

進学先に本校を選んでくださり、ありがとうございます。

中学校の3年間は一番大きく変化し、成長する時期です。難しい時期にも差し掛かりますが、この成長期真っ只中の子供たちの教育に関わることができるのは貴重で、教師冥利に尽きると考えています。中学校は様々な価値観に触れる場所です。中学生は、卒業後の自分の進路を自分自身で決めなければなりません。そのために、自分で判断し、決め、実行するという「自己マネジメント力」を身に付けて欲しいと思っています。

入学まで時間がありますので、ご家庭でしっかりと準備をお願いします。学習面の復習も大事ですが、むしろ大事なことは「心構え」の部分です。例えば、忘れ物をしないと、先生の話や友だちの話をしっかり聞くと、嫌いなことや苦手なことにも諦めず挑戦すると、一生懸命やるといような「気持ち」や「姿勢」をしっかりともって中学生に上がってきて欲しいと思っています。松江六中は、教職員全員がお子さん一人一人を見て、愛情をもって指導していきます。どうか安心してお子さんをお預けください。4月8日の入学式を心待ちにしております。



2月15日(土)の学校公開日に2時間目が終了した時間に合わせて、10時50分から新入生保護者説明会を多目的室で行いました。会に先立って小松川警察署のスクールサポーターから、中学校へ入学する際に保護者として気を付けなければならないことについて、特にSNS関係について話がありました。その中で、松江六中はここ数年、大変落ち着いているというお話をいただきました。

校長の挨拶の後、教務主任の鈴木主幹教諭から次年度の教育課程について、生活指導主任の後藤主任教諭から松江六中の生活や特別活動について、養護教諭の高須主任養護教諭からアレルギーに関する説明を行いました。その後本校PTAの小緑会長及びPTAの役員から、PTA活動や役員・委員会の説明をしました。ほぼぎっしりと埋まった保護者席で、メモを取りながら熱心に説明をお聞きになっている方が大勢いらっしゃいました。

PTA会長の言葉にあったように、「子どもを松江六中に入れて本当に良かった」と実感していただけるように、職員一同努力してまいります。

第3回学校評議員会 2/15 (土)

2月15日(土)午後1時30分から、3回目となる学校評議員会が行われました。今年度最後となる今回は、本校の分掌主任が参加し、今年度のまとめと次年度に向けた目標や取組について、それぞれから報告をしました。それを受けて、評議員の方々からは「インフルエンザについて」

「学校の働き方改革について」「いじめや不登校について」「別室指導員等への地域の方々の活用について」「体力テストの結果について」「部活動の

地域移行について」「学校だよりについて」「保護者へのアンケートについて」「評議員の人選について」「PTAについて」「スピーキングテストや検定試験について」「小中連携について」等々多岐にわ



春はせつなへ



たる事案について様々な質問や意見をいただきました。

評議員の方々からは松江六中の生徒がとても素直であること、学校がとても落ち着いていること、教職員と生徒の関係性がとても良いことを褒めていただきました。本校の大変だった時代

をご存じの方も多く、荒れた学校を立て直すには大変な労力が要るが、良い状態から荒れるまではあっという間であるというお話があり、気の引き締まる思いでした。

今の落ち着いた松江六中の状況に安心することなく、しっかりと生徒たちを見て、保護者・地域と連携しながら教育活動を進めていく決意を新たにしました。評議員の皆様、1年間どうもありがとうございました。

※今回の評議員会の内容と、評議員の皆様から頂いたアンケートの回答をもとに、「令和6年度学校関係者評価」としてまとめ、3月以降にHP等で公表してまいります。

学校給食運営委員会・学校保健委員会 2/17(火)

2月17日(火)12時30分より、学校医の中村龍治様、学務課給食保健係の占部文香様、そして本校PTAの小緑会長をはじめ、本部役員4名をお迎えして、標記の委員会を開催しました。本校の給食業務を担う協立給食株式会社の給食調理チーフから、給食調理へかける熱い思いを伝え、その後は本日の給食を試食しながら、栄養士の森岡さんから本校の給食の献立作りの工夫やアレルギー対応等について報告をしました。

続いて高須主任養護教諭から、今年度の本校の感染症の罹患状況や視力検査・歯科検診の結果について、また区の実践である「歯みがきWEEK」や「快適睡眠週間」の本校の生徒の状況について報告をしました。

本日の給食

ごはん 小松菜のふりかけ 牛乳
鱈のアーモンドがらめ 豚汁
野菜とちくわの磯和え

中村学校医からは今年度のインフルエンザの流行り方の特徴や、昨今のワクチン疲れの状況による予防接種を受ける人が少ないこと、今流行している嘔吐下痢症についてのお話がありました。

保護者の方からは、残菜が多くなれば作る側のモチベーションも下がる。苦手なものでもちょっとでも食べられるよう配慮していただいているので家でも働きかけたい、といったご意見や、米の値段が上がっているが、献立に影響がないのかといった質問がありました。



生徒が学校生活を送るうえで、健康・安全に関する事、そして学校給食に関する事については、保護者の方も大きな関心を寄せています。常日頃から関係機関と連携を取りながら、保護者の方にも積極的に情報を発信し、ご理解をいただけるように努力してまいります。



第2回小中連携協議会（西一之江小学校会場）2/26（水）

2月26日（水）、学年末考査期間の午後の時間を使って、今年度2回目となる小中連携協議会を、西一之江小学校を会場に行いました。西一之江小の5時間目の授業を松江六中の全教員で参観した後、教科ごとに7つの分科会に分かれ、協議を行いました。主に昨年度から取り組んでいる「各教科の小中連携プログラム」の確認、本日の授業についての意見交換、小中それぞれの授業形態や授業方法についての意見交換、授業規律や授業態度の現状と今後の課題について話し合いましたが、予定時間いっぱいまで、活発な意見交換が行われました。

教科によっては、中学校に入学するまでに、ここまでの力を付けて欲しいという具体的な資料が示されたり、小中が連携・継続して取り組んでいく内容について協議したり、主体性を伸ばすにはどうしたらいいかを検討したり、昨年度よりさらに一步踏み込んだ内容になりました。授業規律については小中ともにダメなものはダメであるという一貫した指導が必要であるといった意見や、互いに教え合うことのできる関係づくりが必要であるといった意見や、小学校での人間関係を過度に引きずらず、互いに正しいことが言える関係づくりが大切であるといった意見がありました。

幾度も話題に出っていますが、西一之江小と松江六中は9年間をかけて育てていくといった視点が可能な関係性があります。この連携を大事にし、互いに密に情報を共有しながら、この地域の子どもたちを大切に育てていきたいと考えています。



令和6年度の小中連携（実績）

	内 容	会 場	時 期	実 施 概 要
1	合同あいさつ運動	西一之江小	9/3(火)～6(金) 3/4(火)～7(金)	中学校生活委員が小学校門で挨拶活動
2	第1回小中連携協議会	松江六中	6/26(水)	①授業参観（各教科） ②全体会＋分科協議会（児童・生徒情報交換、中学校の学年単位で）
3	中学校体験入学	松江六中	9/5(木)	6年生全員に ①生徒会から説明 ②授業見学 ③部活動体験
4	中学校の教員による 出前授業	西一之江小	10/3(木)・4(金)	6年生各クラスに中学校の美術・社会科 教員が1時間ずつ授業
5	合唱披露	西一之江小	10/29(火)	朝の集会で合唱コンクール3年優秀クラス（3年2組）による合唱披露

6	チャレンジ・ザ・ドリームでの授業補助	西一之江小	11/28(木)~12/4(水)	中学生の職場体験の実習の1つとして実施
7	五町会合同防災訓練への参加	西一之江小 松江六中	12/15(日)	合同防災訓練のお手伝いボランティア
8	第2回小中連携協議会	西一之江小	2/26(水)	①授業参観(各教科) ②全体会+分科協議会(教科・領域別)
9	児童・生徒の作品交流 ・西一之江小 →1F掲示板 ・松江六中 →1階廊下の掲示板 ショーケース	西一之江小 松江六中	随時	俳句作品の交流(季節の俳句) 中学入学前指導語彙リスト共有(英・社)

【その他 小中関連行事】

4/9(火) 中学校 入学式 5/25(土) 中学校 運動会 6/1(土) 小学校 体育科学習発表会
 9/7(土) 中学校 学校説明会 10/12(土) 六中まつり【PTA主催】
 2/15(土) 中学校 新入生保護者説明会 3/24(月) 小学校 卒業式 3/25(火) 中学校 新入生登校日

3月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
3/3	月	都立一次・前期発表 実力テスト(1・2)	12	21	金	球技大会(2)③~④ 保護者会(1・2)	12
4	火	避難訓練 専門・中央委員会	○	22	土		
5	水		○	23	日		
6	木	都立二次・後期出願	○	24	月	球技大会(1)①~③ 学年集会④ 大掃除⑤ 給食終(1・2)	12
7	金	薬物乱用防止教室⑥(3)	○	25	火	修了式 新入生登校日	×
8	土	P年度末総会		26	水	春季休業日始	
9	日			27	木		
10	月	生徒会朝礼 特別時間割(3)始 ESAT-JYEAR1・2	○	28	金		
11	火	都立二次・後期入試	○	29	土		
12	水	遠足(3) 三送会リハーサル	12	30	日		
13	木	3年生を送る会⑥	○	31	月		
14	金	卒業式予行②~④ 都立二次・後期発表	○	4/1	火		
15	土	新入生標準服等引渡		2	水		
16	日			3	木		
17	月	朝礼 安全指導	○	4	金		
18	火	給食終(3)	○	5	土	春季休業日終	
19	水	卒業式	×	6	日		
20	木	春分の日 吹奏楽部演奏会		7	月	始業式	×